

# 特別な支援を必要とする子供への就学前から学齢期、社会参加までの切れ目ない支援体制整備

## 目的

早期支援コーディネーターを配置し、早期からの情報提供や相談・研修会を推進することを通して、円滑な就学に繋がる教育支援体制の充実を図る。

- ①課題：関係機関との情報共有・連携が不十分  
既存のネットワークや連携ツールの形骸化
- ②課題を踏まえ設定した目的：連携を促すための【人・もの・場】の充実を図る
  - 【人】早期支援コーディネーターの活用
  - 【もの】就学支援シートの作成と活用
  - 【場】指導内容の充実（研修会等の実施）



## 成果

- ・連携を促すための「人・もの・場」の充実により、就学後に繋がる支援がスムーズになった。相互の情報共有や連携へのニーズが促進したことにより、就学移行期だけに限らない日常的な協力体制や連携の深まりに繋がった。
  - ・福祉部局を主体とした連携組織「子ども支援部会」の活性化に繋がった。
  - ・研修会や相談会等を通じて、教職員の支援内容の質の向上に繋がった。
- 【今後の課題】
- ・早期支援コーディネーター等の人材育成
  - ・連携組織の活用によるネットワーク強化

## 事業内容

### ①早期支援コーディネーターの委嘱【主な活動内容】

- ・日常的な情報提供やサポート（社会福祉サービス等について）
- ・就学前幼児についての教職員への教育相談（就学支援シートの活用や引き継ぎのポイントについて等）
- ・就学後の教育相談（個別の教育支援計画・個別の指導計画の作成や適切な支援について等、アフターフォロー）
- ・研修会（就学相談コーディネーター養成講座、調査員研修会）の実施

### ②就学支援シートの作成と活用

- ・有効な連携ツールとして活用するために、使い手のニーズに沿った活用の手引きを作成し、活用の方法や手段についての伝達を行った。

### ③「就学に係るガイドブック」の作成と活用

- ・「就学に係るガイドブック」を作成し、保護者や関係機関への情報提供への活用について働きかけた。



